

第7回近畿地区セミナー開催報告書

当番世話人：京都大学医学部附属病院腫瘍内科 松原淳一

2019年6月29日

1. 開催趣旨、テーマ

第7回近畿地区セミナーは、「がんゲノム医療時代の幕開け」をテーマとして開催された。

本年6月1日より保険適応となったがんの遺伝子パネル検査の臨床現場での有用性と今後の課題について、実際に検査を行った症例を用いた模擬エキスパートパネルや、実際に検査結果に基づいて治療した症例の発表を通して、遺伝子パネル検査について参加者全員で理解を深め、今後の更なる有効活用に向けた議論の場とすることを目的とした。

2. 実施内容

① 実施日時：2019年6月29日 13:00～17:00

② 場所：(株)アークレイ京都研究所・大会議室

③ 参加者数：142名

医師95名、看護師14名、薬剤師5名、学生2名、その他26名

④ 共催：なし

⑤ 後援：

がんプロフェッショナル養成プラン

「高度がん医療を先導するがん医療人養成事業」

がんプロフェッショナル養成プラン

「7大学連携個別化がん医療実践者養成プラン」

がんプロフェッショナル養成プラン

「ゲノム世代高度がん専門医療人の養成」

⑥ 参加費：なし

⑦ プログラム（公式アナウンスの通り）

- ・ Session 1：クリニカルシーケンス検査結果模擬検討会（エキスパートパネル）
- ・ Session 2：症例報告（クリニカルシーケンス検査結果に基づく治療例）
- ・ Session 3：特別講演
「高度化・複雑化するがん医療と臨床開発」
国立がん研究センター中央病院 米盛 勸 先生

3. 地区セミナーの様子

Session 1 では、3 施設から各 1 例ずつ症例提示があり、検査結果とその解釈、その後の治療方針について意見を出し合った。開場からも活発な質問や意見があり、予定時間を 30 分以上超過してしまうほどの盛況ぶりであった。Session 2 では、実際の治療症例を 3 施設から提示いただき、治療判断の詳細についてなど多くの質疑応答があった。Session 3 では米盛先生に、がん遺伝子パネル検査の現状と将来展望について課題も含めて講演していただいた。

過去最多の参加者数からもわかるようにがんゲノム医療の注目度は非常に高く、それを反映して非常に活発な議論が行われた大盛況なセミナーとなった。